

ふるさと共援活動支援事業（舞鶴市松尾地区） 京都大学院生の「松尾ゴボウ」収穫体験

要 旨

舞鶴市松尾集落では、京都大学農学研究科の協力を受け、平成20年度から「ふるさと共援活動支援事業」に取り組んでいます。平成20年度は、学生が集落を調査し、松尾地区の魅力と課題を研究しました。平成21年度は「行動の年としたい」という大学側の思いを受け、第1弾として、「松尾ゴボウ」の収穫体験を行いました。ゴボウ畑は日照りが続いていたこともあり、土が硬く学生達は悪戦苦闘しながらゴボウ掘りを行いました。学生達は普段何気なく食べているゴボウの収穫が、これほど大変なのかと驚きを隠せない様子でした。松尾地区のゴボウは、近隣の方にも人気があり「松尾ゴボウ」で地域おこしが出来ないか検討する予定です。

○日 時：平成21年4月11日（土）午前11：30～午後5：00

○場 所：舞鶴市松尾地区

○参加者：舞鶴市松尾地区 住民3名
京都大学大学院農学研究科 学生8名



ゴボウ畑



集合写真



籾殻でゴボウの泥落とし



ゴボウと格闘しています！



ちょっと一休み♪



こんなにたくさん採れました！